

# 西気明日のいしずえ会



## 地区の概況

|      |       |        |             |
|------|-------|--------|-------------|
| 人口   | 813人  | 小学校    | なし（清滝小学校区）  |
| 世帯数  | 285世帯 | 中学校    | なし（日高西中学校区） |
| 高齢化率 | 36.5% | 幼稚園    | なし          |
| 集落数  | 7     | 保育園    | なし          |
|      |       | 認定こども園 | なし          |

## 組織の状況

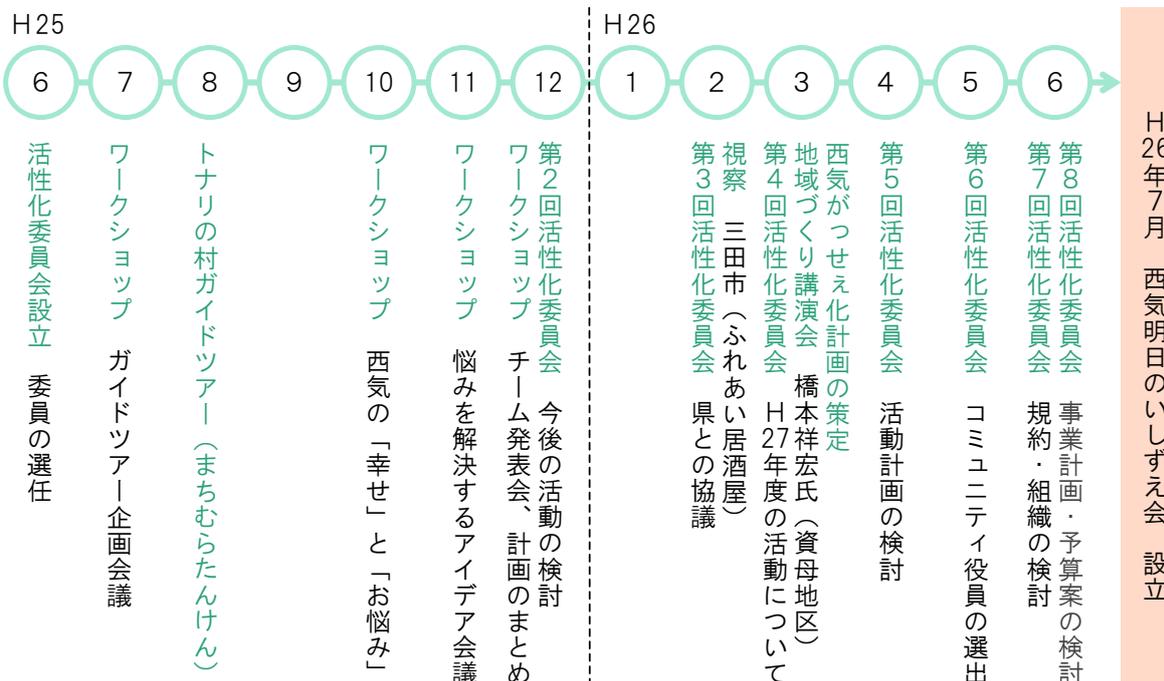
代表者名 田原 宏二

設立年月日 H26.7.18

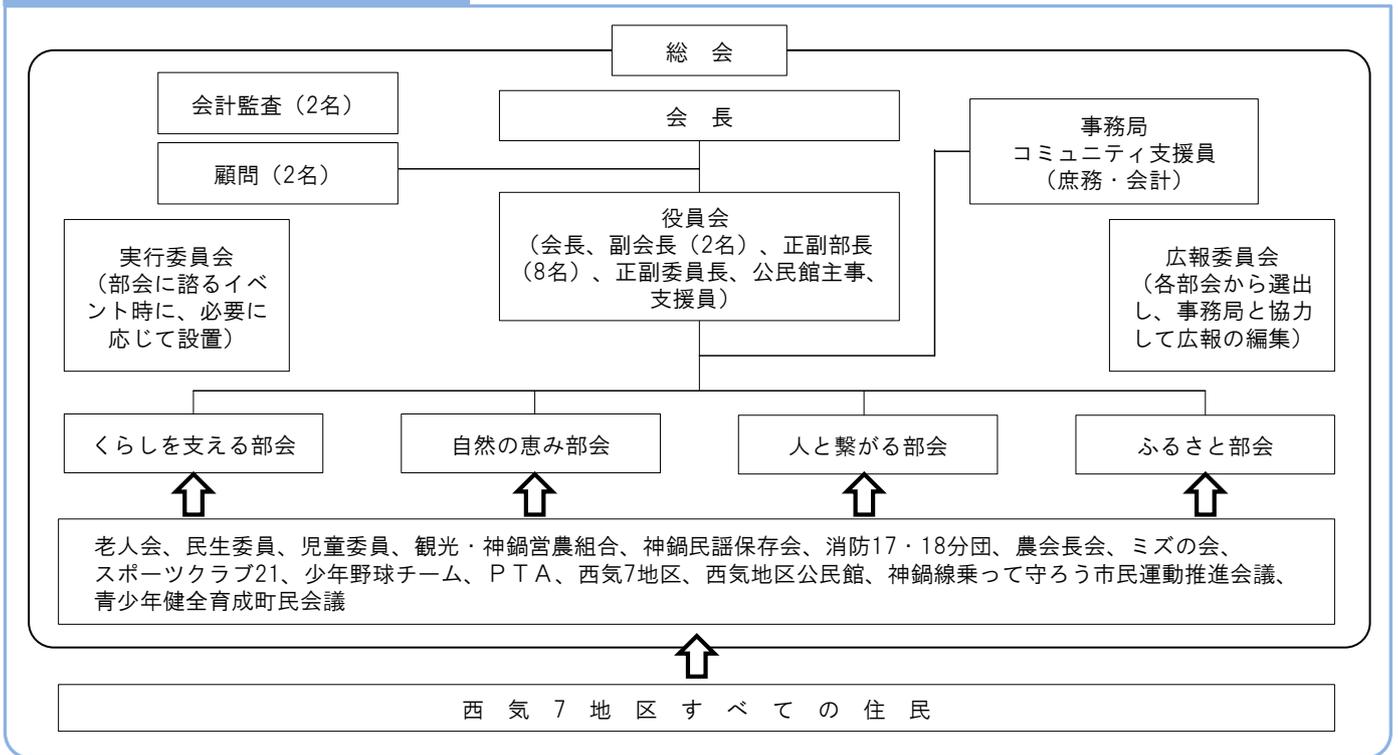
役員体制 会長1名、副会長2名、部長4名、副部長4名、広報委員長1名、広報副委員長1名、顧問2名

## 設立までの経過

\*平成26年4月モデル開始



## 組織図



## はじめの第一歩計画

### 西気がっせえ化計画

おかえり、ただいま。

西気の風景や人に、そんな声をかけあえるような”帰りたくなる”地域を目指して

#### 策定経緯

「人口減少、高齢化による地域力の低下」、「少子化による学校統合」、「生活基盤施設の減少」、「日常生活に支障」など地区の厳しい現実を打開するため、兵庫県の「ふるさと自立計画推進モデル事業」に取り組み、県の派遣アドバイザー（若狭健作氏）の指導のもと、平成26年3月に策定。

#### 策定手法

「いいところ探し ガイドツアー企画会議」、「トナリの村ガイドツアー（まちむらたんけん）」、「西気で感じる幸せとお悩み会議」、「お悩みを解決するアイデア会議」、「チーム発表会＋計画のまとめ」を主題とした計5回のワークショップを開催し、計画としてまとめた。

#### 計画概要

「ヒトプロジェクト（人のつながり演出する）」、「暮らしプロジェクト（これからの暮らし支える）」、「自然プロジェクト（自然の恵み活かす）」の3部門で、「今すぐできそうな事業」、「1年後の実現を目指す事業」、「2年後の実現を目指す事業」、「いつかはやってみたい事業」を盛り込んだ計画となっている。

## 分野別取組み内容

|   |   |  |
|---|---|--|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の魅力スポットの研究<br/>(田んぼアート)</li> <li>②西気地区写真コンテスト</li> <li>③西気地区探検</li> <li>④神鍋高原線 200 円バス利用促進</li> <li>⑤広報紙「西気明日のいしずえ」発行</li> <li>⑥西気明日のいしずえ会だより発行</li> <li>⑦地域資源の再確認勉強会</li> <li>⑧神鍋大根プロジェクト</li> <li>⑨ふれあい持ち込み居酒屋</li> </ul> | <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①普通救命講習</li> <li>②消防訓練</li> <li>③消防団による活動</li> <li>④避難訓練</li> </ul> |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>①西気地区敬老会</li> <li>②まごの手活動</li> </ul>   | <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①西気地区親睦交流会</li> <li>②西気ふれあいの集い</li> <li>③グラウンドゴルフ大会</li> </ul>      |

## コミュニティの取組み



地域の足である「神鍋高原線 200 円バス」の運行を守るため、前年度に引き続き「西気地区親睦交流会」や「西気地区敬老会」等を道の駅「神鍋高原」で開催し、バスの利用を促進しました。

休耕田を活用した「神鍋大根プロジェクト」では、種植え等で世代間交流を行いました。また、収穫体験即売会を実施したところ、西気地区外の方にも足を運んでいただくことが出来ました。収穫した大根は道の駅「神鍋高原」と連携し、「神鍋高原大根キムチ」を作って販売しました。

交流事業として開催した「ふれあい持ち込み居酒屋」には、西気地区内外から、子どもからお年寄りまでの計 50 人が参加しました。各々が持ち込んだ料理を味わい、じゃんけん大会等のアトラクションでは大変盛り上がりしました。

情報発信の取組みとして、地区民に向けて広報紙を発行しています。また、ホームページを作成し、地区内外に向けた情報発信も行っています。

西気小学校が廃校になってから、地域に元気がなくなったように感じています。そのような中で、平成 27 年 4 月に、大学を卒業した西気出身者 10 人のうち 6 人が実家から通勤できる職場に就職しました。こんなに嬉しいことはない、お迎え会を開催しました。

地区内に雇用を生み出すことはなかなか難しいけど、地元に戻る決断をしてくれて本当にありがたいです。今後は、戻ってきた若者が少しでもコミュニティに参加してくれるように工夫していけたら良いと考えています。



中島万佐代さん  
(自然の恵み部会 副部長)